

東海の空へ

第3号

【発行】
平成30年度
全国高等学校総合体育大会
愛知県高校生活動推進委員会
記録部

〈愛知県の高校生のみなさんへ〉

「愛知県高校生活動推進委員会」とは、今年東海地区で行われるインターハイの準備や運営にかかわる様々な活動を、地元の高校生が企画して進めていくための組織です。この通信では、愛知県の高校生活動を紹介しています。

9月からスタートした「横断幕リレー」は順調に進み、各校の思いのこもったメッセージが次々と書き込まれています。

さらに、県推進委員会では、各県からの選手・監督やお客様を温かくお迎えするための準備を、メンバーどうしてたくさんの意見を出し合いながら進めています。

私たち県推進委員会のメンバーは、それぞれの学校での学業や部活動・生徒会活動などの合間を利用してさまざまなアイデアをひねり出し、連絡を取り合い、会議以外の場面でも日々活動しています。来年度のインターハイ本番に向けて、各学校の生徒のみなさんにも様々な形で高校生活動への参加をお願いすることになると思います。どうか積極的なご協力をよろしくお願いします。

〈推進委員会の活動12月～3月前半〉

☆高校生活動推進委員会[第3回:12月11日(月) 第4回:2月1日(木)]

前回の会議以降におこなわれた活動についての報告の後、各部会が取り組んでいるさまざまな業務についての検討が長い時間をかけておこなわれました。

☆1月11日(木) 開催200日前セレモニー(カウントダウンボード除幕式)

愛知県庁西庁舎において、県立愛知工業高等学校が製作したカウントダウンボードの除幕式が行われました。当日は、生徒を代表して田邊さんと下山さんが出席し、製作する中で大変だった点や工夫した点などを大村愛知県知事に説明しました。このカウントダウンボードは、大会終了まで愛知県庁西庁舎ロビーに展示されています。

☆3月10日(土) マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2018でのPR活動(パロマ瑞穂スタジアム)

名古屋ウィメンズホイールチェアマラソンと名古屋シティマラソン(クォーター)のゴールとなったパロマ瑞穂スタジアムのマラソンマルシェで、各校推進委員によるPR活動がおこなわれました。

インターハイ®



©インターハイ



製作中のカウントダウンボード



除幕式の様子



マラソンマルシェでのPR活動

〈これからの活動予定〉

☆4月22日(日) 2018インターハイ100日前イベント(アスナル金山)

【高校生活動推進委員会】

今回の会議では、「300日前イベント」や「愛知駅伝」、「東海の空へ」の発行、「カウントダウンポード除幕式」などの活動報告の後、「2018インターハイ100日前イベント愛知県応援サポーター」のde laさんが就任挨拶に来てくださいました。

その後の各部会の協議・作業では、総務部では大会参加記念品のデザインや作成の分担、広報部では学校推進委員会で実施するPR活動について協議し、記録部では「東海の空へ」第2号の修正・添削と総合開会式式典前映像に使用する写真の精選を行いました。また今回から、インターハイの広報制作物のデザインを担当するデザイン部が立ち上がり、大会役員ポロシャツ・補助員Tシャツのデザイン案を考えました。どの部も開催200日を切ったインターハイに向けて、盛り上がっています。

最後の全体会で、協議・作業で出た変更点や決定事項を全体に報告しました。

4月22日(日)アスナル金山での100日前イベントにもたくさんの方に来ていただけるよう、精一杯活動していきたいです。

【マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2018】

3月11日(日)に、パロマ瑞穂スタジアムで行われた「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2018」で広報活動をしました。

PRのグッズのウェットシートや反射板を渡す

時、お客さんやゴールしたランナーの方一人一人に今年のインターハイは東海地区で行われることを伝えたり、ブースでの缶バッジづくり体験の補助をしました。インターハイのマスケットキャラクターのウイニングくんと名古屋グランパスエイトのマスケットのグランパスくんが交流していたり、グランパスくんが高校総体のPRに使っている旗を持って歩いてくれたりと、予想外の楽しい出来事もありました。

いよいよ東海総体本番まであと4ヶ月、残されたわずかな時間で、できるだけ多くの人にインターハイが東海地区で行われることを知っていただけるように、そして総体をより良いものにするよう、精一杯活動していきたいと思えます。

【会場紹介シリーズ③】

“自然豊かな町”「東郷町」

「愛知池漕艇場 東郷コース」では、「ボート」競技が行われます。

この会場はかつて、昭和58年の全国高校総体や平成6年の国民体育大会が開催されるなど、様々な大会が行われました。



また、愛知池周辺の管理道路は一周7.4kmあり、誰でもランニングやウォーキングを楽しめるようになっていきます。

その他にも、ゴルフ場や多目的広場、キャンプ場などの豊かな自然に囲まれており、隣接するかたちで「愛知牧場」(日進市)があり、週末には多くの家族連れで賑わいます。

“クルマの街”「豊田市」

「スカイホール豊田」では、「卓球」競技が行われます。

豊田市は、自動車の会社「トヨタ自動車」があり「クルマの街」としてよく知られています。そんな車のイメージが多い豊田市ですが、実は地域の約7割が豊かな森林で、田園が多く広がり、国から環境モデル都市に選定されています。

また川手メロディートンネルというトンネルがあり、トンネル内を時速50kmで走行すると「どんぐりころころ」のメロディーが聞こえるといった全国で初めて設置された道路もあります。

他にもサッカー等球技専用の豊田スタジアム、紅葉で有名な香嵐渓、豊田市美術館やトヨタ会館など様々な観光名所が四季折々に応じて楽しむことができる街です。

